

## 〈解答〉

- ① 1 (1) 法令：御成敗式目〔貞永式目〕 記号：ウ (2) 守護（漢字2字）  
2 (1) 建武の新政 (2) ①：公家 ②：武士（両解）  
3 (1) 〔例〕借金を帳消しにすること。 (2) 惣  
4 (1) 改革：寛政の改革 記号：ウ (2) 株仲間

配点 各1点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1(1) 御成敗式目〔貞永式目〕は、1232年に執権の北条泰時が定めた鎌倉幕府の法律で、武家社会のならわしをもとに、守護・地頭の職務、所領の相続などについてまとめられている。
- (2) 守護は1185年、源頼朝が弟の源義経をとらえることを理由に、国ごとに置くことを朝廷に認めさせた。
- 2(1) 鎌倉幕府を滅ぼして後醍醐天皇みずからが京都で行った政治を建武の新政という。年号を建武と改め、公家中心の政治を行おうとした。
- (2) 建武の新政で後醍醐天皇は公家重視の政策を続けたため、武士の反感を招き、約2年でくずれた。その後、吉野に逃れた後醍醐天皇は南朝を開き、足利尊氏は京都（北朝）に光明天皇を立てた。1338年に征夷大將軍に任命され、京都に幕府を開いた。
- 3(1) 正長の土一揆は1428年、近江（滋賀県）の馬借や京都・奈良周辺の農民がおこした土一揆である。幕府に徳政を要求して土倉や酒屋をおそった。碑文は、この一揆の成果を記している。史料C中の「ヲキメ」が借金を意味している。
- (2) 惣では、村の代表が寄合を開いた。
- 4(1) 史料Dの「白河」は、白河藩主で1787年に老中になり、寛政の改革を始めた松平定信のことである。「もとの濁りの田沼」は、わいろが横行していた田沼意次の政治を指している。アは田沼意次の政治、イ、エは徳川吉宗の享保の改革である。
- (2) 株仲間は、江戸時代、幕府や藩から認められた商工業者の同業組合で、営業税を納めて特権的な営業を認められた。商品の販売先や価格などを協定して利益の増大を図った。田沼意次の政治のころは、営業税目的に積極的に公認された。水野忠邦の天保の改革では、一時解散させられた。